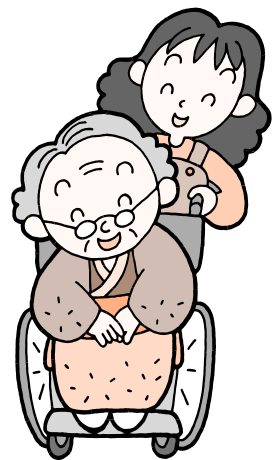


市の考えを問う 一般質問

12月7日・8日・9日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



Q 介護保険改正にどう 対応する

おおた 太田 ただよし 忠芳 議員



A 元気な高齢者を増やし、適正なサービスの整備をしていく

問 厚生労働省社会保障審議会介護保険部会では、「利用料2割や3割負担の対象拡大」など、「給付と負担」に係る7項目が議論されている。

問 総合事業に移行された要支援1、2認定者の影響は。

答 既存の事業所が総合事業の指定を受けたため、利用者、事業者ともに大きな影響はない。令和3年度からは、生活援助を中心とした基準緩和型訪問サービスをシルバー人材センターに委託した。

問 要介護1、2の認定者の介護サービスの実態は。

答 この介護度の認定者数が大変多く、中には認知症の症状の方もいる。通所サービス、訪問ヘルパーサービスが多く、福祉用具なども利用している。

問 利用料負担割合が2割負担、3割負担となった影響は。



問 利用者数などに特段の変化が見られず、影響はなかったものと考えられる。

問 利用料の支払いが困難でも利用は減らせないと、退所できないという事情もあると思うが。

答 相談では、個別の事情に丁寧に対応している。

◎その他の質問 マイナンバーカードを健康保険証に変えるかどうか

問 コロナ下、子どもたちはマスクの着用、友達の家との行き来、行事の中止、給食の黙食などが続いている。常にマスクで顔が見えないこともコミュニケーション不足の一因となり、不安やストレスを抱えている。国県から、マスクの着脱、給食時に黙食を求めないなどの通知が出ている。子どもたちや保護者の意志を尊重するためにも、

問 学校生活での声がけや先生方、保護者及び地域の方への理解を広げるべきではないか。

答 本市が取り組んでいる「学び合い学習」は、子どもと子どもをつなぎ、授業を通して子どもたちのコミュニケーション能力を育成していると捉えている。小学校では、体育や休み時間の外遊びなどの場面ではマスクを外すことを声かけしている。マスクの着用は、児童・生徒、保護者の意向を尊重し、それに伴うリーフレットを学校に配布して周知している。

保護者には、保護者向け情報発信ツールを使って周知し、地域の方に向けては、自治会回覧の準備を進めている。

◎その他の質問

一 国際セクシュアリティ教育ガイダンスの取組

二 認知症バリアフリーの取組

Q 子どもたちに顔が見える日常を取り戻す

おおの 大野 ひろこ 洋子 議員

マスクの着用は児童・生徒、保護者の意向を尊重

